

平成26年度千代田区第1回子どもの遊び場推進会議 会議録

日 時 平成26年7月15日（火） 午後6時35分～午後8時33分
場 所 千代田区役所教育委員会室

議事日程

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 委員及び事務局自己紹介
- 4 座長・副座長互選
- 5 報告・検討事項
 - ・子どもの遊び場事業実績報告・考察
 - ・子どもの遊び場事業に係る実施場所及び実施回数の拡充について
 - ・子どもの遊び場事業の柔軟な展開について
- 6 今後のスケジュールについて
- 7 その他
- 8 閉会

出席委員（8名）

上智大学文学部保健体育研究室教授	師岡 文男
外神田五丁目栄町会	作道 泰明
千代田区青少年委員会会長	谷 真理子
スポーツ推進委員	岡村 五十鈴
九段小学校PTA会長	久保寺 健郎
千代田小学校PTA会長	足立 陽子
和泉小学校副校長	伊藤 栄司
神田地区の町会関係者	大野 智洋

出席区理事者（2名）

子ども総務課長	村木 久人
文化スポーツ課長	大塚 立志

出席事務局（2名）

子ども総務課係長	久保 俊一
子ども総務課主事	岡本 翼

出席事業者（3名）

D&A Networks 代表	中田 弾
-----------------	------

D&A Networks	河合 恵実
D&A Networks	秋山 真克

※D&A Networksは子どもたちが参加するイベントの企画・運営等を行っており、今年度の子どもの遊び場事業の運営を委託されている団体です。

欠席委員（2名）

麴町中学校PTA会長	瀬谷 達郎
神田地区の町会関係者	飯田 加世子

欠席区理事者（1名）

道路公園課長	千賀 行
--------	------

欠席事務局（0名）

議事日程

- 1 開会
⇒子ども総務課長より開会の挨拶があった。
- 2 委嘱状交付
⇒各出席委員に委嘱状を交付した。
- 3 委員及び事務局自己紹介
⇒各出席委員及び事務局より自己紹介があった。
- 4 座長・副座長互選
⇒委員の互選により、師岡委員が座長に、作道委員が副座長に選任され、それぞれ就任の挨拶を行った。
- 5 報告・検討事項
⇒事務局及び事業者から以下の事項について資料に基づき説明があった。
 - ・子どもの遊び場事業実績報告・考察
 ⇒事務局から以下の事項について資料に基づき説明があった。
 - ・子どもの遊び場事業に係る実施場所及び実施回数の拡充について
 - ・子どもの遊び場事業の柔軟な展開について
 ⇒事務局及び事業者からの説明後、各委員からの意見表明、質疑応答等があった。

※各委員からの意見表明、質疑応答等

●子どもの遊び場事業の現状について

- ・東郷公園で、子どもから遊び場実施場所の下段ではなく上段部分で遊ぼうと言われた場合等はどのように対処しているのか。
⇒「ボールはこっちの広い方で遊ぶ方が楽しいよ」とか、「上で遊ぶときは道具は置いて行こうね」といったように対処している。(D&A Networks)
- ・中学生も来ているか。
⇒主には小学生だが、その兄弟関係で中高生も来ている。(D&A Networks)
- ・いつも別の子どもが来ているのか、同じ子どもがリピーターとして来ているのか。
⇒公園によるが、外濠公園はいつもグループでくる子どもたちがいる。小川広場等も数人が固定メンバーとして来ており、それと別途数名が来ている。(D&A Networks)
- ・ボールが道路に飛んでいくと危険なので、道路側にカーテン式のネットをはるようなことはできないか。
⇒現在は事業実施中のみ、可動式のネットを設置し、活用している。また、プレーリーダーが遊ぶ場所等に配慮している。実際に常設するとなると検討が必要。(区)
- ・将来的にはプレーリーダーがいなくとも、ボール遊び等ができることを着地点として目指しているのか。
⇒長期的な目標としてはそのとおりだが、今すぐというのは困難であると考えている。そのため現状の形を続けつつ、今後場所によっては、用具の管理だけをする人の配置のみに留めたり、自由度を増していくようにしていくことを考えている。(区)
- ・場所や時間帯によって、ボール遊び等に関する規制を緩めるということとはできないか。
⇒道路公園課と調整の上、検討していく。(区)

●子どもの遊び場事業に係る実施場所及び実施回数の拡充について

- ・実施場所を増やすことによって、今まで事業を実施の恩恵にあずかっていた子どもをカバーできるのは良い。
- ・新規 1 箇所と、現在実施中の場所での実施回数を増やすとのことだが、プレーリーダーの確保は大丈夫か。
⇒実施回数を増やすのは 1 箇所予定で、そこまでは問題ない。今後場所が増えたとき、それに合わせてプレーリーダーを増やすことはできるが、質を落とさないよう注意する必要がある。(区)
- ・富士見小学校をカバーする実施場所が欲しい。
- ・空き地と道路を利用することを検討していく必要がある。

●子どもの遊び場事業の柔軟な展開について

- ・一部の遊び場でシルバー人材センターの方にゆるやかな管理も実施してみるということだが、若い人をお願いできると、今まで遊び場で遊んでいた子が成長した時戻ってくるといってもできるのではないか。

- ・シルバー人材センターの方でも、旗振りをしている方等、子どもと毎日会っている方なら、全く知らない人より柔軟に対応頂けるのでは。
 - ・例えば水曜・木曜とやってもらって、片方はプレーリーダー、片方はシルバーとするとはっきりした比較ができてよいのでは。小川広場フットサルコートのような場所であれば問題も起きにくいと思う。
 - ・シルバー人材センターの方でも高齢な方等は対応が難しいのでは。また、管理だけにしたら子どもが来なくなるという心配もある。
 - ・ワテラス（※）の学生ボランティアを活用することは考えられないか。
 - ・シルバー人材センターにお願いする場合に、安全の管理まで依頼するのか。
- ⇒危険行為をしている時に一言声をかけてもらう等、簡易なもののみとする予定。プレーリーダーと同じ役割はできないと考えている。（区）

※神田淡路町にある大規模複合施設で、この施設内の「ワテラスアネックス」最上階 14・15 階に「ワテラスチュード学生ハウス」があり、入居者はまちづくり組織「一般社団法人淡路エリアマネジメント」の学生会員となり、地域活動・ボランティアを行う。

6 今後のスケジュールについて

平成 26 年度 第 2 回	平成 26 年 11 月実施予定	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの遊び場事業実績報告 ・子どもの遊び場事業試行運用結果報告 ・子どもの遊び場事業試行検証 ・子どもの遊び場事業 運用方法（案）検討
平成 26 年度 第 3 回	平成 27 年 3 月実施予定	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの遊び場事業実施状況報告 ・子どもの遊び場事業試行運用結果報告 ・次年度の事業展開について

7 その他

8 本会議での決定事項の確認

1	旧今川中学校で試行運用を実施する。
2	現在子どもの遊び場事業を実施している場所の実施回数を増やす。
3	校庭開放は現在も機能しているため、校庭で遊び場事業を実施していくのではなく、別のチャンネルとして子どもの遊び場事業を展開していく。
4	プレーリーダーを配置しない事業展開は必要だが、あくまで別物として慎重に検討していく必要がある。

9 閉会